



よつばちゃんとわたしの大きな家ができたよ

『よつばちゃんにとっても、自分たちにとっても嬉しい家』を目指して、一人一人が自分にできることを頑張ってきました。そんな思いの詰まった家が遂に完成です。家を引越すときには、「よつばちゃんが喜んでくれるように、引っ越しのお祝いをしたいな」と、草や野菜、果物を使って豪華な料理を作ったり、家の飾りつけをしたり、新しくできた2階から手作りクラッカーでお祝いしたりしました。2階からスロープを使ってエサを入れられるエサ箱や、新しい藁のベッド、リードを入れておく箱など、家具もだんだんと増えていきました。最初は、完成したばかりの新しいお家に緊張していたせいか、何度も前の家に戻ろうとしていたよつばちゃんですが、今ではすっかり『わたしのお家』がお気に入りです。子どもたちも、毎朝登校してくるなり、2階に登ったり、よつばちゃんと遊んだりして、思い思いの時間を過ごしています。



よつばちゃんをお母さんにしてあげたいな



9月に入ったころ、よつばちゃんの様子がいつもと違うということが話題になりました。昼間も夜も、よく鳴くようになったのです。どうしてだろう？と調べてみると、どうやら発情ではないかということが分かってきました。そして、この発情の話題から、「よつばちゃんをお母さんにしてあげたい」、「赤ちゃんを産んでほしい」という声がたくさん上がりました。新しい命の誕生を楽しみにすることは当然でもあると思いますが、子どもたちの一番の願いは、「羊の仲間が近くになくて、よつばはきっと寂しい思いをしているはず。だから、家族を増やしてあげたい」というものでした。よつばちゃんと同じ、白い顔の赤ちゃんが生まれてくれたら嬉しいなと願った子どもたちは、お父さんになってもらえる白い顔の雄羊を探して、県内の牧場や動物園に電話をかけて調べていきました。すると、長野市内に一頭、白い顔の雄羊がいることが分かりました。早速、自分たちの思いを伝え、見学をさせていただきました。雄羊の名前はしゅんくんと言います。長野小学校に貸していただくことも快諾していただきました。よつばちゃん、しゅんくんとの新しい生活が始まりました。

仲良くなってね 仲良くなったね よつばちゃんとしゅんくん

長野小学校にやってきた、雄羊のしゅんくん。体も大きく、力も強く、雌のよつばちゃんとは全然違います。加えて、縄張りを作っていく雄の習性もあってか、たまに頭突きもきます。お散歩の仕方も、エサの量も、今までのようにはいかないことがたくさんありました。しかし、子どもたちは、よつばちゃんもしゅんくんも、このお家で気持ちよく過ごしていくことが、きっと2頭の仲の深まりに繋がると考え、試行錯誤しながら2頭との生活を作っていました。「よつばちゃんもしゅんくんも、お互いのことを気に入って



くれたかな」、「大好きになって、交尾をしてくれたら嬉しいな」、「なるべく二人だけの時間を多くしてあげよう」と2頭の様子を見つめていた子どもたちです。11月12日～13日、嬉しい瞬間は突然にやってきました。「しゅんくんがよつばちゃんにのってる」、「よつばちゃんも受け入れているみたい。大好きになったんだ」と語りながら、嬉々とした表情で2頭の交尾を見つめる子どもたち。羊は交尾から約150日で新しい命が誕生すると言われています。まだ確実とはいえませんが、お腹に赤ちゃんがいるかもしれないよつばちゃん、お父さんになるしゅんくん。子どもたちは、赤ちゃんが無事に生まれてきてほしいなと願いながら、生まれてくるまでのカウントダウンカレンダーを見つめたり、体調を気にしながら日々のお世話をしたりしています。2頭と共に、新しい命の誕生と温かな春を待ちわびながら、厳しい冬を乗り越えていきたいと思っています。